



心臓財団 季 報

No.197

● 財団法人日本心臓財団 ●

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル 835 区-A

○ Tel 03-3201-0810 ○ Fax 03-3213-3920 ○ e-mail:info@jhf.or.jp ○ http://www.jhf.or.jp/

November 10, 2009

平成21年度日本心臓財団研究奨励決定

本年度の研究奨励事業は、第35回日本心臓財団研究奨励に84名と第7回日本心臓財団若年研究者研究奨励(藤基金)に20名の応募があり、代田浩之順天堂大学医学部循環器内科学教授を委員長とする選考委員会が10月5日に開かれ、下記に掲載の方々が選考されました。

第35回日本心臓財団研究奨励は40歳未満の少壮研究者を、第7回日本心臓財団若年研究者研究奨励(藤基金)は30歳未満の将来性のある若手研究者を対象に心臓血管病の成因、治療、予防等循環器の研究領域広範囲から募集するものです。奨励金は日本心臓財団研

究奨励が1件200万円、若年研究者研究奨励(藤基金)が各50万円です。

委員長	代田 浩之	順天堂大学医学部循環器内科学教授
委員	池田 宇一	信州大学大学院医学系研究科循環器病態学教授
(五十音順)	小川 久雄	熊本大学大学院医学薬学研究部循環器病態学教授
敬称略)	北風 政史	国立循環器病センター心臓血管内科部門部長
	佐藤 靖史	東北大学加齢医学研究所腫瘍循環教授
	島本 和明	札幌医科大学内科学第2教授
	富永 隆治	九州大学大学院医学研究院循環器外科学教授
	深水 昭吉	筑波大学先端学際領域研究センター教授
	松本 昌泰	広島大学大学院医歯薬学総合研究科病態探究医学教授
	山科 章	東京医科大学内科学2教授

第35回日本心臓財団研究奨励

(五十音順・敬称略・奨励金額は各200万円)

番号	氏 名	所 属	研 究 課 題
1	池田 宏二 (39歳)	京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器内科学 助教	新規遺伝子ARIAの生体内における血管新生および血管発生に対する役割の解明
2	伊藤 薫 (34歳)	千葉大学大学院医学研究院 循環病態医科学 G-COEフェロー	心不全発症に関わるシグナルネットワークの解明とその治療法の開発
3	奥田 真一 (36歳)	山口大学医学部附属病院 第二内科 医員	筋小胞体カルシウム放出チャネル安定化による新しい致死性不整脈の治療法の開発
4	片上 直人 (40歳)	大阪大学医学部附属病院 内分泌・代謝内科 医員	酸化ストレス関連遺伝子多型の集積が糖尿病患者の心血管イベント発症に及ぼす影響
5	小池 智也 (31歳)	山梨大学大学院医学工学総合研究部 分子病理学 助教	内皮リパーゼを標的とした新たな動脈硬化の治療戦略—遺伝子改変ウサギモデルの応用—
6	曾根 正勝 (38歳)	京都大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科学 助教	ヒトESおよびiPS細胞を用いた血管老化機構の解明と応用
7	二村 圭祐 (30歳)	大阪大学大学院医学系研究科 遺伝子治療学 特任研究員	心臓発生におけるエピジェネティックな遺伝子発現制御機構の解明
8	伯野 大彦 (39歳)	防衛医科大学校循環器内科 助教	ストレス応答性分泌蛋白に着目した動脈硬化性心臓弁・血管病変の新規治療法の開発
9	平山 順 (33歳)	東京医科歯科大学難治疾患研究所 MTTプログラム発生再生生物学 特任講師	概日リズムに注目した循環器疾患の予防および時間治療のための基盤研究
10	三宅 紀子 (34歳)	横浜市立大学医学部遺伝学 助教	大動脈瘤関連遺伝子解析と臨床的検討による大動脈瘤のリスク評価の確立

第7回日本心臓財団若年研究者研究奨励(藤基金)

(五十音順・敬称略・奨励金額は各50万円)

番号	氏 名	所 属	研 究 課 題
1	大冢マリアナ今日美 (27歳)	大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学 大学院生	血管石灰化と骨粗鬆症の共通の分子機構とエストロゲンによる制御
2	小川 真仁 (27歳)	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 循環制御内科学 技能補佐員	マウス心臓移植モデルにおける急性および慢性拒絶に対するPAI-1の役割
3	砂川 陽一 (28歳)	京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 大学院生	心筋細胞肥大におけるp300/GATA4複合体による肥大反応遺伝子の転写調節機構の解明
4	橋本 良太 (27歳)	順天堂大学医学部 生理学第二 助教	T型Ca ²⁺ チャネル阻害薬による血管再生療法効率化の可能性

第7回日本心臓財団・アステラス・ファイザー 「動脈硬化 Update」研究助成対象研究者決定

当財団では、動脈硬化研究の一層の進展と少壮研究者の育成に努めるうえで、動脈硬化領域における研究を行う40歳未満の研究者に対して第7回「動脈硬化Update」研究助成を実施しました。

今回、61題の応募があり、山下静也大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学病院教授を委員長とする選考委員8名による書類審査により5題が選出されました。9月5日に開催された研究発表会で5題のうち上位3題の発表があり、それをもとに最優秀賞1題、優秀賞2題が選考され、残り2題が奨励賞に決定しました。

選考委員(敬称略)

委員長	山下 静也	大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学病院教授
委員	秋下 雅弘	東京大学大学院医学系研究科加齢医学准教授
(五十音順)	上田真喜子	大阪市立大学大学院医学研究科病理病態学教授
	酒井 寿郎	東京大学先端科学技術研究センター教授
	堀内 久徳	京都大学大学院医学研究科循環器内科学講師
	山田 信博	筑波大学学長
	横手幸太郎	千葉大学大学院医学研究院細胞治療学教授
	横出 正之	京都大学医学部附属病院探索医療センター探索医療臨床部教授

研究助成対象研究者

(順不同、敬称略、金額単位：万円)

番号	氏名	所属	研究課題	金額
1	岡村 将史 (34歳)	東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科	PAI-1 および HIF (PHD) の脂肪細胞分化における機能解析	200
2	岸田 堅 (39歳)	大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学	内臓脂肪蓄積と心血管疾患危険因子の横断・縦断研究～尼崎内臓脂肪研究～	100
3	多田 隼人 (30歳)	金沢大学大学院医学系研究科 臓器機能制御学	次世代の脂質代謝改善薬創薬の新たな起点としての LDL 受容体アダプター蛋白 (LDLRAP1 蛋白)	100
4	新藤 優佳 (38歳)	信州大学大学院医学研究科 臓器発生制御医学	血管特異的コンディショナルターゲットによる AM-RAMP2 システムの病態生理学的意義の解明	30
5	槇野 久士 (39歳)	国立循環器病センター 動脈硬化代謝内科	末梢血 CD34 陽性細胞数が2型糖尿病患者の動脈硬化に与える影響に関する研究	30

第14回日本心電学会学術奨励賞決定

平成21年7月2日から4日まで、国立京都国際会館にて第26回日本心電学会学術集会(会長：堀江 稔・滋賀医科大学呼吸循環器内科教授)が開催され、4日の総会において当財団が後援している第14回日本心電学会学術奨励賞の授賞式が行われました。

これは日本心電学会の会員で、心電学の進歩に寄与する顕著な研究を発表し、将来発展の期待される40歳未

満の研究者に贈られるものです。

今回は、芦原 貴司氏(滋賀医科大学呼吸循環器内科)、渡部 裕氏(新潟大学医歯学総合病院第一内科)が最優秀賞に、大野 聖子氏(京都大学医学部附属病院循環器内科)、多田 毅氏(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科循環器内科)が優秀賞に選ばれました。

2009年「世界ハートの日」キャンペーン報告

健康ハートで働こう！(Work with Heart)

世界心臓連合が提唱する地球規模での心臓病予防キャンペーン「世界ハートの日」は、毎年9月の最終日曜日とされており、世界各地でこの日を中心に、さまざまなイベントが行われます。

今年のテーマは「健康ハートで働こう！(Work with Heart)」でした。

多くの人は、起きている間の半分以上の時間を働くことに費やしています。これは、生活習慣を改善して健康

的な生活を送るためには、職場の環境がとても重要であることを示しています。職場でのほんの小さな“チェンジ”が、心臓病予防にも仕事の成果にも大きな効果をもたらすことを世界共通のテーマに掲げました。

日本では、日本心臓財団が中心となって、昨年に引き続き、各地で啓発パンフレットや腹囲測定メジャーを無料配布したり、各種イベントを行いました。

名古屋市では、名古屋大学医学部附属病院で、ノ

心不全をテーマにした市民公開講座や健康相談などが行われ、多くの市民の方々に参加していただきました。

京都市では、京都サンガFCの協力を得て、西京極総合運動公園陸上競技場でのJリーグ公式試合にて、横断幕や電光掲示板による「世界ハートの日」表示や入場者へのパンフレット、メジャー配布、選手のサイン入りTシャツプレゼントなどを行いました。

千葉市では、ジェフユナイテッド市原・千葉の協力を得て、フクダ電子アリーナでのJリーグ公式試合にて、入場者へのパンフレット、メジャーを配布しました。

長野市では、健康的な運動体験として、ポールを使った新しいウォーキングであるノルディックウォーキング大会を開催しました。

また、今年は新たに、関西医科大学附属枚方病院、大寿会病院の協力により、大阪・枚方市にて市民公開講座、健康相談、ノルディックウォーキングなどが行われました。



京都市・西京極総合運動公園陸上競技場



長野市・エムウェーブ



名古屋市・
名古屋大学医学部附属病院



枚方市・関西医科大学附属枚方病院



千葉市・
フクダ電子アリーナ



〈協 力〉

日本循環器学会、名古屋大学医学部、関西医科大学枚方附属病院、大寿会病院、枚方市、枚方市医師会、枚方市体育協会、京阪電気鉄道株式会社、京都サンガFC、ジェフユナイテッド市原・千葉、千葉市、日本ノルディックフィットネス協会、信州ノルディックウォーカー、ノルディックウォーカークラブ

〈協 賛〉

オムロンヘルスケア(株)、(有)ジェイエフデザイン、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)、第一三共(株)、バイエル薬品(株)、フクダ電子(株)、(有) Body Conditioning Factor

募集のお知らせ

第23回日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成

1. 助成対象

心臓病・脳卒中・高血圧・動脈硬化症等の循環器領域の研究に携わる研究者

2. 助成金額

1件300万円とし原則として10件

3. 応募資格

次の事項のすべてに適合する者

- 1) 初めての海外留学であること
- 2) 40歳未満(1970年4月1日以降生まれ)で日本国籍を有すること
- 3) 1年以上留学すること
- 4) 留学先研究機関の責任者または受入者の承諾を得ていること
- 5) 一定の研究業績を有すること
- 6) 2010年4月1日～2011年3月31日の間に出発の予定であること

4. 応募期間

2009年10月1日～11月30日(消印有効)

第5回日本心臓財団・ノバルティス循環器分子細胞研究助成

1. 助成対象

循環器領域における分子細胞生物学的研究の進歩に著しい貢献が期待される研究者とする。研究対象は基礎あるいは臨床の別は問わない。

2. 助成金額

1件100万円を10件

3. 応募資格

- 1) わが国に在住する者
- 2) 年齢が40歳未満(2009年4月1日時点の年齢)
- 3) 原則として臨床系教室およびそれに準ずる施設
- 4) 原則として個人研究
- 5) ただし、次の事項に該当する場合は応募できない
 - ①過去に本研究の助成対象者となった者
 - ②前年度の助成課題の連続応募
- 6) 応募は一人一題とする

4. 応募期間

2009年12月1日～2010年1月31日(締切日必着)

詳しくは、当財団ホームページ「研究助成」をご覧ください。 <http://www.jhf.or.jp/josei/>

ご支援ありがとうございます

当財団へのご寄付

次の方からご寄付を頂戴しました。ここにご芳名を記して感謝の意を表します。(2009年5月～10月)

齋藤 孝夫 様	東京都武蔵野市	10,000
翠 哲平・納実・惇 様	東京都杉並区	10,000
俵谷 正佳 様	神奈川県鎌倉市	1,000,000
匿名		6,333
長谷川 章 様	兵庫県神戸市	10,000
匿名		50,000
匿名		6,333

当財団をご支援下さる方

本年度もご支援をいただいた方のご芳名を掲載します。(2009年9月～10月)

相澤 義房 様	石川 雄一 様	大槻 俊輔 様
栗田 明 様	柴田 仁太郎 様	橋本 敬太郎 様
藤原 久義 様	渡部 良夫 様	匿名 3名

●心臓財団からのお願い●
～ご寄付ならびに賛助会ご加入～

当財団が循環器疾患の予防・制圧事業を展開するうえで、その多くは寄付金ならびに賛助会費により支えられております。あなたのまわりの方にもぜひ呼びかけてください。

ご寄付はいくらでも受けさせていただいております。当財団は「特定公益増進法人」として認可を受けておりますので、税制上の優遇措置が講じられております。

ご支援いただける場合は、下記の口座をご利用ください。

郵便振替口座 00140-3-173597
宛て先 財団法人日本心臓財団



●お近くにお越しの際はお立ち寄り下さい。●